

どんなサービス

学術論文と研究データが学術分野及び社会で広く共有され、研究活動がオープンに行われることで、研究活動の加速化や、社会と緊密な連携の上に成り立つ問題解決が進み、学術活動が新しい次元（=オープンサイエンス）に移行することが期待されています。NIIでは、研究データを、管理、公開、検索する、NII研究データ基盤（NII Research Data Cloud : NII RDC）の研究・開発をしています。

何ができるの？

論文のみならず研究データのオープン化を推進することで、研究プロセスが透明化されるとともに、研究成果がより幅広く活用されるようになることが期待されます。

大学や研究機関等での研究教育だけではなく、産学連携の基盤としても利用の拡大が期待されます。

あたらしい機能の追加はあるの？

研究データ基盤で構築する新機能と目的

データガバナンス	研究データ管理計画（DMP）の策定
データプロビナンス	研究公正への対応
コード付帯	再利用可能な研究成果の公開
秘匿解析	データ駆動型研究と機密情報の両立
キュレーション	オープンサイエンスの推進
セキュア蓄積	データ蓄積環境の整備
人材育成	研究データ管理の人材育成

